

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

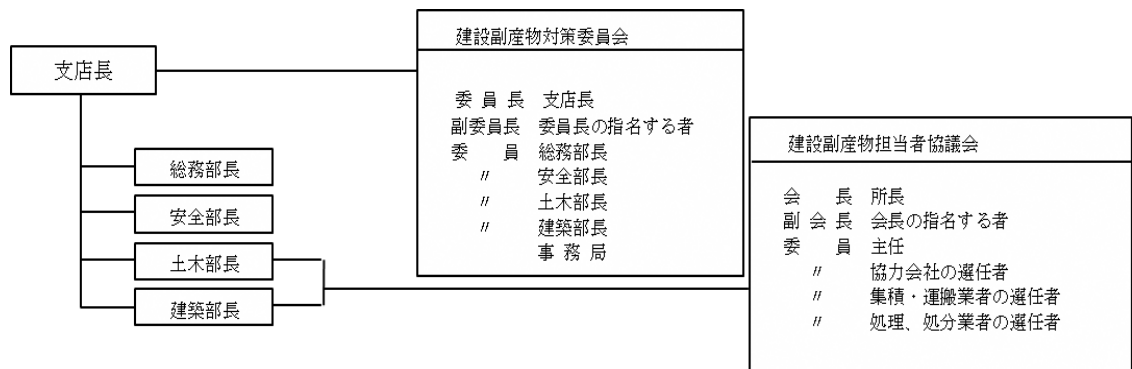
(第 1 面)

[illegible]

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	3,544.40 t	73.08 t
	(これまでに実施した取組) 工事計画段階で、構造物の特性を踏まえた採用工法の検討を行うとともに施工のプロセスにおいては作業所の全ての関係者が排出抑制と減量（容）化に繋がる提案とその実施に向けて検討している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	3,500.00 t	70.00 t
	(今後実施する予定の取組) 常に下記事項についての意識高揚を図る。①工法の検討②再生資材等の使用拡大③梱包の簡略化④正確な数量把握⑤余剰材の引き上げと転用⑥ロス材の有効活用⑦分別の推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①コンクリートガラ②金属③木くず④アスファルトコンクリートガラ⑤廃プラスチック等の廃棄物を種類別に分別収集し処理業者への委託や再生利用業者への売却等により、出来るだけ最終処分量を減らすことに努めている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①コンクリートガラ②金属③木くず④アスファルトコンクリートガラ⑤廃プラスチック等の廃棄物を種類別に分別収集し処理業者への委託や再生利用業者への売却等により、出来るだけ最終処分量を減らすことに努めている。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
排 出 量	7.14 t	242.77 t	47.91 t	145.60 t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
排 出 量	7.00 t	240.00 t	45.00 t	140.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
排 出 量	733.82 t	1,382.23 t	93.39 t	218.82 t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
排 出 量	730.00 t	1,300.00 t	90.00 t	200.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 5 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
排 出 量	28.02 t	0.23 t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
排 出 量	25.00 t	0.20 t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	3,544.40 t	73.08 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	2,134.65 t	73,008.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	3,544.40 t	73.08 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面)－2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	7.14 t	242.77 t	47.91 t	145.60 t
優良認定処理業者 への処理委託量	7.14 t	242.77 t	47.91 t	75.10 t
再生利用業者への 処理委託量	7.14 t	242.77 t	47.91 t	145.60 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)－3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
全処理委託量	733.82 t	1,382.23 t	93.39 t	218.82 t
優良認定処理業者 への処理委託量	445.18 t	465.31 t	33.89 t	218.82 t
再生利用業者への 処理委託量	733.82 t	1,382.23 t	93.39 t	218.82 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)－4

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
全処理委託量	28.02 t	0.23 t	－ t	－ t
優良認定処理業者 への処理委託量	27.46 t	0.20 t	－ t	－ t
再生利用業者への 処理委託量	28.02 t	0.23 t	－ t	－ t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	3,500.00 t	70.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	2,500.00 t	70.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,500.00 t	70.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き工事において可能な限り分別して、混合廃棄物の排出量を削減し、リサイクルを目指す。又、処理委託に関しては優良認定処理業者から選定する。		
※事務処理欄			

(第5面)－2

【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず
全 処 理 委 託 量	7.00 t	240.00 t	45.00 t	140.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	7.00 t	240.00 t	45.00 t	100.00 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	7.00 t	240.00 t	45.00 t	140.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第5面)－3

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など	コンクリート片	廃アスファルト	建設混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	730.00 t	1,300.00 t	90.00 t	200.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	500.00 t	500.00 t	40.00 t	200.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	730.00 t	1,300.00 t	90.00 t	200.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第5面)－4

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	廃蛍光ランプ類		
	全 処 理 委 託 量	25.00 t	0.20 t	－ t	－ t
	優良認定処理業者 への処理委託量	25.00 t	0.20 t	－ t	－ t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	25.00 t	0.20 t	－ t	－ t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。